建設産業新聞

28.6.10

社員が災害センタースタッフ

熊本地震ボランティア参加

NIPPO

熊本地震の災害センターに参加した同社社員

NIPPOでは、熊本地震の災害センターに参加した社員たちの活動に関する情報を配信しています。熊本県とその周辺地域の復旧活動を支援するために、ボランティアとして活動している社員たちの声を聞くことができます。
差配の経験、仕事に通じる

熊本に新入社員ボランティア派遣

現場を知ることの重要性学ぶ

わらしないで笑う笑いの映画が効果的に評価されている。8月に現実の活動に
続けてマッチングを行った。現場は個人の片付けが主な
作業になっており、35人の
の熊本市住民ボランティアーセ
のグループが必要だとして
された後、市やバス、マイ
で被災者宅に向かった。

高橋雅之(中)工務店長

同社は、熊本市山田市に

「活動のマッチング、資料
内容」とボランティアに
<br>予定している「00人のボラ
ティア」が募集しており、年前3月
で被災者からの依<br>頼さんに活動を行っていた。5月4日に活動<br>を開始した、熊本県山田市に<br>在住の被災者からの依<br>頼を受けて、「活動の必要性」を強調し<br>ている。10日に終了する。<br>参加の新入社員は、本<br>部の仕事がないことを初めて<br>知り、「ボランティアの組織立<br>て方が分かった。少しでも被<br>災者の方になれたかなって<br>うれしく思っている。」<br>